

弓道ながの

第91号

発行：長野県弓道連盟
会長 松島貞治
〒399-1801
下伊那郡泰阜村4139
TEL0260(26)2628
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社印

巻頭言

弓道から学んだこと

長野県弓道連盟副会長 内藤 信一



何年も前の、寒い日曜日の朝のことです。千曲市弓道場に個人練習に行く時、弓道場玄関の真ん中の、大変目立つ所にタバコの吸い殻が落ちていたのです。弓の道を歩む者がそんな所に吸い殻を捨てる事はありません。前日に弓道以外の事で道場が使われましたので、その関係者が落としていったものと思います。その吸い殻をすぐに拾うべきでしたが、両手に荷物を持っていただけで、買って間もない竹弓をまず張りましたので、弓を張ってから吸

い殻を拾いに行きました。すると、バツの悪いことに、私より少し後に来た七段の先生に吸い殻を拾われてしまったのです。その先生より前に弓道場にいたのは私だけですから、私が吸い殻を拾わずに通る過程、私が吸い殻を拾わずに通り過ぎたことは明白です。その場で、「先生に吸い殻を拾わせてしまったすみません。弓を張ってから拾おうと思っていましたので……」と言うべきだったと思いますが、言い訳がましいと思ってしまうのでした。今思うと、言い訳では無く吸い殻を拾ってしまったことの謝罪として言うべきでした。いえ、それは七段の先生に対して失礼という訳ではなく、相手が誰であっても恥ずべきこと、謝罪すべきことだと思いま

す。それ以来、自分が歩いた後にゴミが残っているのが気になるようになり、たまにですが、駅前を歩くときなどに小さなゴミを拾って吸い殻などの小さなゴミを拾って持ち帰るようになってしまいました。小さな美徳我慢のようになってしまいました。それだけゴミを拾わせてしまったことを悔いる気持ちが大きかったのだとお読みください。私はこの話を生徒にすることがありますが、それは単に「ゴミを拾いましょう」という話ではなく、自分



が通った後にゴミが落ちていているのは恥ずかしいことだし、同じように自分が通った後に良くない状態が残っているのは恥ずかしい事です。よね、という意味で話をしていきます。つまり自分が弓道部を引退するときに、自分が通ってきた弓道部が荒れた状態、例えばしっかりと礼をする習慣がっていないとか、真面目に弓の道に取り組む気持ちが出ていない部員の集まりだとかだったら恥ずかしいですよ、という意味で話をしています。

弓道から学ぶことは数多くあります。弓道を始めた時の基礎基本の大切さ、練習をする上での心構え、スランプになった時の気持ちの持ち方や克服法……などは多くの方が共通して経験していることと思います。今回は他の方が共通して経験していないと思われる事について書かせていただきました。





一層の精進を目指して

上伊那支部 教士六段 手塚信一郎



七月に行われた「仙台」定期中央審査会におきまして、教士二次審査を通過することができました。今回の結果に至るまで、県内のみならず、県外の多くの皆様にも多大なご支援とご指導をいただきました。この場を借りて、深い感謝を申し上げます。皆様の助力や励ましがなければ、ここまでたどり着くことは難しかったと改めて実感しております。

振り返ってみますと、六段昇段後、仕事の面での環境の変化により、一人稽古が中心となりました。稽古の時間や質をどのように確保するか、当時大きな課題であり、悩みの種でした。日々の稽古において、どのような練習が効果的なのか、どの程度の分量をこなすべきか、またどのような環境下で練習を行うのが良いかなど、さまざまな点を試行錯誤しながら取り組みました。

さらに、コロナ禍が訪れ、多くの

弓士の皆様も同様だったと思います。が、稽古の機会が著しく制限され、特に道場での稽古が思うようにできないという状況が続きました。当初は練習不足による後退も「またすぐに、以前の状態に戻るだろう」と楽観的に考えていましたが、実際にはこの期間中に本来的中率が大幅に悪化し、元の状態に戻すには予想以上の時間と努力を要しました。この過程では、基礎やこれまでの修練を再確認し、繰り返し練習を行うことで少しずつ感覚を取り戻していききました。

社会が徐々に通常の状態に戻り、審査を以前のように受けられる環境に戻ってからは、諸先輩、諸先生のご指導を踏まえ、現在の自分には何が足りないのか、何を身につけるべきなのかを考えつつ練習を進めてまいりました。この過程では、自分の思い込みとご指導、ご指摘との乖離をどう頭の中で擦り合わせるか

ということが主なテーマであり、時間をかけて練習を進めました。前述のように、今回の結果は、諸先輩、諸先生のご指導・ご助言を元に練習を重ねた成果であり、皆様には大変感謝申し上げます。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。これからも皆様のご指導とご鞭撻を賜りながら、初心を忘れず、一層の精進を重ね、自身を磨いていきたいと考えております。



弓道合宿予約随時受付中！

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロッチ

〒384-1305

長野県南佐久郡南牧村野辺山1003

HP: <http://www.teisanlodge.com/>

ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

令和六年度教士研修会に参加して

上伊那支部 錬士六段 森川 明男



八月十、十一日の二日間、松本市弓道場にて、講師として錬士八段鈴木康弘先生、錬士八段杉田博先生に来ていただき、教士研修会が行われました。今回は錬士六段にも参加を呼びかけてくださり、私も参加する機会をいただきました。

とても素晴らしい研修会でした。多

くの方が同様に思われたのではないかと思います。初日は受講者三十名でした。拝礼後、講師のご挨拶、鈴木先生の矢渡で始まり、質疑応答の後、受講者による一手指射を行いました。射技指導の前に、鈴木先生のお話が受講者とやり取りしながら進みます。

先生のお話はユーモアを交えて、飾り気なく、精神論ではなく、論理的でした。私共が正しいと思いついで、努力が足りないと思いついで、敗れていることを指摘されていたように思います。具体的には「弓手押しちゃいけないよ」「力はいらない、骨格で引くのだから」「頑張らないで、力んでしまいうよ」「肩下げようとしなくていい」「手を挙げて開くだけでいい。その骨格の形で十分弓力に耐える。あえて肩を下げる」と崩れて、力むようになる」

「右手親指伸ばそうとしなくてよい」「弓手は離れて動かさない。的狙って、動かすと当たらないよね」「弓手角見を働かせようとしなくて、受けるだけでよい」など。

午後には両先生による射技指導。両講師の周りには受講者が集まり、射技指導を熱心に聞いていました。鈴木先生はユーモアたっぷりに、杉田先生は静かに本質を突くようにご指導されて、気が付くと予定の時間が過ぎていました。

二日目は、二十七名の参加でした。鈴木先生と杉田先生の一つ的射礼で始まり、お二人の射礼は、心の奥底に響く素晴らしいものでした。もちろんすべての場です。場の空気が縮まり、受講者は目標とすべき射を直視して大きな勇気をいただきました。

二日目のみ参加の方の一手指射の後、射技指導となりました。

初日の説明にさらに理解が深まるように、手の内、中指の働き。握りの良し悪し。右手(磔)の使い方、体幹の使い方など個々の射技指導を、他の受講者も聞き、質問し理解を深めてゆきました。

気温35度の熱中症警報の中でしたが、二日間に渡り受講者の集中が途切れない、素晴らしい研修会でした。最初から最後まで、熱心にご指導くだ

さった鈴木康弘先生、杉田博先生のエネルギー、胆力には頭の下がる思いです。紙面をお借りして、深く御礼申し上げます。講師の先生方の弓道に対する深い理解から発せられる言葉には力があり、圧倒されました。学んだことを修練して、身体で表現できるようになりたいと切に願いました。

猛暑対策で冷たい麦茶、お菓子などご準備いただいた会場担当の方、ありがとうございました。そして、このような機会をくださった、県執行部の先生方へ感謝を申し上げて稿を閉じたいと思います。ありがとうございました。



令和6年度 長野県弓道近的選手権大会

期日：令和6年6月30日(日) 於：長野運動公園弓道場



大会結果

男子 有段者の部

- 1位 福澤 貴二(長野)
- 2位 藤森千友貴(上小)
- 3位 蟹澤 契太(上伊那)
- 4位 藤澤 千章(中高)
- 5位 小林 恒太(安曇)

女子 有段者の部

- 1位 藤澤 敏恵(長野)
- 2位 岩村 綾(飯伊)
- 3位 小島 弓佳(上小)
- 4位 平瀬 修子(飯山)
- 5位 松井 邦江(松本)

男子 有段者 技能優秀者

- 黒澤 悠樹(上小)

女子 有段者 技能優秀者

- 柴田 恵子(上伊那)

男子 称号者の部

- 1位 永藤 聡(須高)
- 2位 小田切祐典(須高)
- 3位 岩村 拓生(飯伊)

女子 称号者の部

- 1位 内山 寿美(諏訪)
- 2位 牛越 和枝(安曇)
- 3位 横澤 志織(塩尻)

弓仲間紹介

弓道に魅せられて

長野県中野立志館高等学校

弓道部部长 齋藤 希彩

私が弓道を始めたのは高校生になった時です。初めて弓道を見た時の先輩方の真剣な顔や、凛とした姿勢が強く印象に残っています。入部して一か月は、同じことの繰り返しでなかなか弓に触れることはできませんでした。その間に多くの人たちが辞めていきましたが、これを頑張ったら楽しい弓が引けるようになるかと先輩が声をかけてくれたのでそのおかげで頑張ることができました。

的に立てるようになりデビュー戦の大会に向けて練習を始めるようになり、最初は、練習通りに体を動かしても思うように引けず安土に届かせるので精一杯でした。的に当てたい！という気持ちはみな同じで大会近くは仲間と励まし合いながら毎日のように居残り練習をしたのは今でもいい思い出です。

今一緒に弓道がんばっている仲間



間は、一年生六名、二年生八名の計十四名です。外部の先生からも賑やかと言われるほど先輩後輩関係なく仲が良い部活だと思います。顧問の先生方と、外部の先生にも支えてもらいながら弓道に励んでいます。

一年生は、八月頃に的に立つようになり楽しいという声がよく聞かれます。最初のもっと引きたいという気持ちを大事にしてこれからも弓道に励んでほしいと思います。二年生は、個性豊かな人たちが多く毎日楽しく練習しています。

私たち中野立志館高校の弓道部は助け合いと、教え合いを大事にし、わからないところをお互いに先輩後輩の区別なく聞きあうことを大切にしながらこれからも弓道に真剣に向き合っていきます。

カッコいいという理由で入った弓道だったけれど、やっていくうちに弓道の魅力に気づき最初の頃よりも、もっとこの仲間たちと頑張っ高みを目指したいと思えるようになりまし。チームでも全体でも目標に向かって頑張っていきます。



令和6年度 長野県弓道遠的選手権大会 兼 第75回全日本弓道遠的選手権大会 長野県予選会

期日：令和6年7月28日(日) 於：長野県飯田運動公園弓道場



大会結果

男子の部

- 1位 亀岡 英司(南佐久)
- 2位 清水 伸浩(諏訪)
- 3位 保科 良介(上小)

女子の部

- 1位 蟹澤 絢音(上伊那)
- 2位 藤澤 敏恵(長野)
- 3位 中島 冬萌(長野)

全日本遠的選手権 長野県代表 男子

- 代表 亀岡 英司(南佐久)
- 代表 清水 伸浩(諏訪)
- 補欠 保科 良介(上小)

全日本遠的選手権 長野県代表 女子

- 代表 藤澤 敏恵(長野)
- 代表 丸山 淳子(諏訪)
- 補欠 小島 弓佳(上小)



私と弓道

諏訪支部 初段 西村 奈美

私にとつての弓道とは、今回、この文章を書くにあたって、この問いを自分なりに考えてみました。そして今の私に言えることは、「未知」もしくは、「?」です。

五十の手習い、改め、四十の手習いとして、弓を手にして四年目になり、昨年、初段をいただきました。始めたきっかけは今思えば、ほんの少しの興味だったと思います。もともと、小・中学校と剣道と書道を習っており、「道」とつく物事が身近でした。心技体を鍛え、剣や書に向き合うことが子供だった自分にも、少なからず染み付いていたのだと思います。そこに自分の今の環境と、タイミングと、町の弓道部の存在と様々な要因が重なり今の私の弓道ライフが出

上がりました。

始めた当初は、少し身体を動かす趣味で、一週間、時には一か月に一度の練習で、軽く現実逃避のようなところが、徐々に「?」が増えてきて、指導者の方々の執り弓の姿勢や、的中音の響き。動作は基本、一連の流れ、専門用語。気が付けば分からない事ばかりで、それでも分からない事の中にうずうずと湧いてくる高揚感。ただ、弓に矢をつがえて射る。そこには、年齢も性別も関係なく、只々、対峙するのは的と自分自身。理解しているようで、それはきっと「弓道」のほんの欠片でしかない知識。考えれば考えるほど私は「弓道」の世界の入り口をうろろしている存在なのだど落胆し、同時に未知の世界へ興奮をおぼえ、感じてみたいと思ってしまうのです。

最後に、四十の素人に、一から指導してくださる方々に、感謝と尊敬を伝えたいです。そして今後もよろしく願います。

以上が今の「私と弓道」です。ありがとうございました。

令和6年度 長野県弓道支部対抗競技会

日時：令和6年9月1日(日) 於：松本市弓道場





個人近的

- 1位 岩村 拓生(飯伊)
- 2位 小田切祐典(須高)
- 3位 神通川浩一(松本)

個人遠的

- 1位 岩村 拓生(飯伊)
- 2位 清水 北登(須高)
- 3位 星野 拓翔(佐久)

団体近的

- 1位 飯伊支部
- 2位 上小支部
- 3位 佐久支部
- 4位 長野支部
- 5位 松本支部

団体遠的

- 1位 飯伊支部
- 2位 須高支部
- 3位 南佐久支部
- 4位 佐久支部
- 5位 上小支部



総合優秀支部

飯伊支部

追悼

範士八段 大久保秀雄 先生を偲んで

長野支部 辰野 正雄



長野県弓道連盟顧問・範士八段大久保秀雄先生は、老衰のため令和六年五月四日に享年百一歳の生涯を静かに閉じられました。心からご冥福をお祈り致します。

私が先生にお会いした時は、既に教士七段に昇格昇段されており、会での振動がなかなか収まらず、その振動が一瞬静止し矢が離れたのを見て深く感動したことを思い出します。まさに



先生がおっしゃる、座右の銘「無発の発」(呼吸を整え、体の中からどんな盛り上がりつつくる力を感じながら、平常心を保って弦を引き続けていくと身体の総体が爆発し、おのずと的に向かつて矢が離れていく瞬間がやってくる)そのものであったのですね。

先生は昭和十年現在の長野商業高校へ入学するやいなや弓道部へ入部、在校中に頭角を表し、最高学年の五年生で全国中等学校生徒弓道大会では優秀賞第一位の成績を納め、その勢いで弓道審査会において中学生では特段の参段に昇段されました。

昭和十五年三月旧国鉄長野工場の経理事務職に採用され、仕事の傍ら弓道に励むことができ、とにかく練習は欠かさなかつたようです。当時県庁近くにあった武徳殿に毎朝通って練習した後、長野駅南側の長野工場に出勤し、就労後も仕事と両立しながら弓道を励める環境に恵まれました。職場には弓道をやっていた先輩が五、六人おり、二人立の道場を造ってもらえたのとこの

昭和十八年入隊し出征先は現在のベトナムへ、経理部勤務となり、ある日、偶然にも倉庫で中国から転戦してきた部隊が使っていた弓具を発見し、係に頼んで借り矢を射ることができたそうです。戦地にまで来て弓の練習ができるとは思いの外であったと。終戦で復員し、直ちに元の職場に復帰、そして弓道の練習も再開、昭和二十四年頃になると弓道部員は二十人ほどに増え、特別の計らいで新しく道場を造つてもらい、昭和二十六年四月に第一回近県弓道選手権大会を弓道部員の運営で開催できたそうです。当時は弓を引き離せば的に中つたようで、五月に京都の御所で開催された第二回弓まつり全国大会に出場し、会心の射で射技優秀の評価となり、参加者中最高得点を得て、特別六段に昇段されました。

昭和二十二年から十四年間、発足した長野県弓道連盟事務局長を務め、文字通り弓道三昧でした。昭和五十三年国鉄を退職されましたが、その前年に副会長となり平成五年からは第六代会長を二期歴任され、その間やまびこ国体の運営や県弓道連盟史の創刊に尽力されました。その頃から長野市スポーツ協会の初心者弓道教室を開催することになり、その運営指導を任せられました。また、卒業生が継続したい

との強い希望があり、昭和五十四年に長野運動公園弓道クラブを発足し、初代会長となり以後三十八年間の長期に渡り毎月射技指導と講話で優しく熱心に指導され、多くの昇段昇格者を輩出するなど、地域スポーツ振興に特段のご尽力をいただきました。また、昭和五十九年五月に範士に推挙され各種受賞もされておりますが、特に平成十五年秋の叙勲で旭日双光章を受賞され、ご夫婦で皇居に参内し天皇に拝謁され感激されておりました。

弓士の皆様へ贈る言葉として 1. 「基本を大切に」 2. 「基本の積み重ねは上達への近道である」 3. 「施して酬を求めず、受けて恩を忘れず」 4. 「われ以外は皆師なり」と、これらの教えは、貴重な無形財産として今後も精進し、大切に引き継いでいきたいと思ひます。



大会結果

第67回 松本市市民スポーツ大会「春季大会」

令和6年6月9日(日) 松本市弓道場
参加人数：高校84名、一般61名、合計145名

個人(8射)

▲高校
1位 高橋 大松商学園P
2位 西澤 碧(松商学園C)
3位 深澤ひより(松商学園B)
4位 吉川加奈子(松本深志A)
5位 中谷 凛(蟻ヶ崎F)

▲一般
1位 松永 日向(信州大学混合D)
2位 菅原 恵(たばたクラブ)
3位 河津 瑛士(信州大学混合A)
4位 吉江 美佳(松本嬢)
5位 船田 徹(大安曇北)

団体(24射)

▲高校
1位 松商学園P(高橋大、大矢悠喜、百瀬煌希)
2位 松本深志C(深澤佑、岩崎遼太郎、小澤大生)
3位 蟻ヶ崎C(入山魁斗、櫻井宇景、堀内悠史)
▲一般
1位 信州大学混合A(廣瀬末琴、河津瑛士、畠山菜子)
2位 信州大学混合B(藤原晃平、室井裕貴、中川敬太)
3位 松本嬢(村上やよい、松嶋孝子、吉江美佳)

令和6年度 長野県中学生弓道大会 兼 第21回 全国中学生弓道大会長野県予選会

令和6年6月29日(土) 塩尻市弓道場
参加人数：65名

個人(8射)

▲男子
1位 渡邊 啓杜(長野日大)
2位 松永 侑樹(長野日大)
3位 今泉 大雅(上田第五)

女子(8射)

▲女子(8射)
1位 神田 和奏(長野日大)
2位 丸山 詩葉(長野日大)
3位 矢野 藍海(塩田)

男子

▲男子
1位 長野日大A(松永侑樹、奥遠真、渡邊啓杜)
2位 上田スボ少(松室大地、今泉大雅、黒澤陽向)
3位 長野日大B(大日向功匡、清水一樹、花崎聖希、都留敬介)

第61回 南信三都対抗親善射会

令和6年7月7日(日) 飯田運動公園弓道場
参加人数：36名

個人(8射)

▲一般個人(8射)
1位 志村 仁(諏訪)
2位 蟹澤 絢音(上伊那)
3位 三石 正博(飯伊)

第20回 長野県弓道大会 IN 長野

令和6年7月15日(月・祝) 長野運動公園弓道場
参加人数：一般105名

個人(8射)

▲一般個人(8射)
1位 小田切祐典(須坂A)
2位 平瀬 修子(飯山城址会A)
3位 笠井 信夫(運動公園E)
4位 藤澤 敏恵(松藤矢弓)
5位 横澤 志織(あらい弓)

団体(24射)

▲一般団体(24射)
1位 飯山城址会A(石田真、平瀬修子、小林綾)
2位 あらい弓(横澤志織、滝沢聡子、萱沼あすか)
3位 須坂C(清水北登、岩原裕貴、永藤聡)

第58回 県下弓道伊那大会

令和6年7月15日(月・祝) 伊那市武道館弓道場
参加人数：高校81名、一般76名、合計157名

個人(8射)

▲高校男子
1位 登内 琉真(高遠B)
2位 森本 裕太(東海大諏訪B)
3位 北原 駿斗(箕輪進修A)
4位 加藤 誠紀(赤穂D)
5位 宮下 遼也(赤穂D)

高校女子

▲高校女子
1位 赤羽音慧月(高遠B)
2位 木下寿央那(箕輪進修B)
3位 岩井 千奈(諏訪二葉E)
4位 青木 心菜(赤穂A)
5位 森山あやか(箕輪進修B)

一般

▲一般
1位 宮澤 公利(澤澤澤B)
2位 山本 優(飯伊C)
3位 宮島さおり(サン・キュー)
4位 北原久美子(飯伊B)
5位 手塚信一郎(伊那F)

令和6年度 全日本少年少女武道(弓道) 錬成大会

令和6年7月20日(土) 日本武道館

男子

▲男子
1位 曾山 良和(石川県)
2位 清水 北登(長野県)
3位 平澤 敏弘(長野県)
4位 友安 正人(石川県)
5位 中條 大輔(石川県)

女子

▲女子
1位 越能 公子(石川県)
2位 山本真理子(石川県)
3位 小澤 幸子(新潟県)
4位 坂本 祐子(石川県)
5位 久保田智恵(長野県)

第13回 北信越弓道錬成大会

令和6年7月21日(日) 県営富山弓道場

男子

▲男子
1位 曾山 良和(石川県)
2位 清水 北登(長野県)
3位 平澤 敏弘(長野県)
4位 友安 正人(石川県)
5位 中條 大輔(石川県)

女子

▲女子
1位 越能 公子(石川県)
2位 山本真理子(石川県)
3位 小澤 幸子(新潟県)
4位 坂本 祐子(石川県)
5位 久保田智恵(長野県)

安曇野弓道大会

令和6年8月4日(日) 豊科弓道場
参加人数：高校108名、一般45名、合計153名

個人(8射)

▲高校
1位 荒井 康汰(諏訪一葉)
2位 柳澤 怜奈(松商)
3位 竹村 咲耶(諏訪一葉)

一般

▲一般
1位 松井 幸彦(混合)
2位 熊谷 敬造(かぼたん)
3位 荒川 保(安曇A)
4位 渡辺 敏夫(池田A)
5位 本山耕一郎(ナガノ)

団体(24射)

▲一般団体(24射)
1位 かぼたん(熊谷敬造、熊谷直子、生田憲克)
2位 松本A(三村仙市、武川勇、関正幸)
3位 池田A(渡辺敏夫、浅石美由紀、奥野知子)

第21回 全国中学生弓道大会

令和6年8月17日(土) 明治神宮中央道場

団体女子(24射)

▲団体女子(24射)
1位 長野県 長野日本大学中学校

大田市制70周年記念弓道大会

令和6年8月17日(土・18日) 大田市弓道場
参加人数：高校70名、一般60名、合計130名

近似的・個人(8射)

▲近似的・個人(8射)
1位 入山 魁斗(松本嬢ヶ崎)
2位 峯村 侑花(塩尻志学館)
3位 林陽 菜乃(松本嬢ヶ崎)
4位 長岡 佑夏(塩尻志学館)
5位 山崎 琉生(松本嬢ヶ崎)

一般

▲一般
1位 松井 幸彦(安曇)
2位 渡辺 敏夫(池田)
3位 吉江 美佳(松本)
4位 牛越 和枝(安曇)
5位 関 正幸(松本)

近似的・団体(24射)

▲近似的・団体(24射)
1位 松本嬢ヶ崎D(開島諒、山崎琉生、堀内悠史)
2位 松本嬢ヶ崎C(入山魁斗、小林龍弥、櫻井宇景)

3位 志学館女子B(長岡佑夏、石川美鈴、降旗史愛)	10中
▲一般	
1位 安曇C(丸山真弓、松井幸彦、牛越和枝)	20中
2位 村越組(村田聡、中島章子、村越良美)	16中
3位 松本嬢(松嶋孝子、丸山淳子、吉江美佳)	14中
▲遠的・個人の部(8射)	
▲一般	
1位 山崎 充夫(大町)	8中
2位 西澤 良典(大町)	7中
3位 村越 良美(長野)	7中
4位 荒井 孝芳(長野)	7中
5位 酒井 大貴(池田)	7中

第44回 飯田市中心道沿線都市親善スポーツ大会

○令和6年8月18日(日)
長野県飯田運動公園弓道場
参加人数・合計232名

▲個人部の部	
▲高校男子	
1位 高山 翔威(池田工業)	7中
2位 松澤 直輝(飯田風越)	6中
3位 大場 詩月(赤穂)	6中
4位 登内 琉真(高遠)	5中
5位 関島 橙哉(下伊那農業)	5中
▲高校女子	
1位 瀧浪 翼(飯田女子)	8中
2位 仲平 凜(飯田)	6中
3位 伊藤 実歩(阿智)	6中
4位 小林 聖(松川)	6中
5位 長谷川 菜里(岐阜中津)	5中
▲一般男子	
1位 岸田 光(土岐市)	8中
2位 岩村 拓生(松川町)	8中
3位 蟹澤 史弥(駒ヶ根市)	7中
4位 伊藤 千昭(上郷)	7中
5位 蟹澤 契太(駒ヶ根市)	6中
▲一般女子	
1位 蟹澤 絢音(駒ヶ根市)	7中
2位 松井 邦江(松本市)	6中
3位 林 知佳子(泰阜村)	6中
4位 藤澤 敏子(上郷)	5中
5位 菅 七菜子(上田市)	5中
▲団体の部	
1位 駒ヶ根市(蟹澤契太、蟹澤絢音、保科良介)	19中

2位 駒ヶ根A(竹村茂明、井口正弘、蟹澤史弥)	15中
3位 松本市あまおう(伊藤一寛、松井邦江、濱島伸太郎)	14中

第99回 諏訪大社御射山奉射会
第71回 近県弓道下諏訪大会

○令和6年8月25日(日)
下諏訪町菅弓道場・陸上競技場仮設遠的場
参加人数・高校89名、一般38名、合計127名

▲金の的中者	
矢沢 結翔(岡工)	
岩崎 遼太郎(深志C)	
降旗 咲(蟻ヶ崎A)	
上瀧 壮太(蟻ヶ崎G)	
唐沢 知希(下諏訪向陽A)	
▲奉射(遠的4射)	
1位 酒井 紳一(新生羅鎌)	4中
2位 中村 美穂(卯月)	2中
3位 西澤 徹(大北池田)	2中
4位 山田 宗季(混成チーム)	2中
5位 小田切祐典(岡谷アラス)	2中
▲個人の部(奉射近的4射+近的4射)	
1位 丸山 淳子(茅野協会B)	6中
2位 河野 博和(チームK)	5中
3位 矢沢 結翔(岡工)	5中
4位 岩原 祐貴(岡谷アラス)	5中
5位 小田切祐典(岡谷アラス)	5中
▲団体の部(24射)	
1位 岡谷アラス(岩原祐貴、金子夏暉、小田切祐典)	13中
2位 大北池田(西澤徹、傳刀惠美、船田徹)	10中
3位 チームK(小坂井規恵、河野博和、黒岩有仁)	10中

第45回 北信越国民スポーツ大会弓道競技

○8月24日(土)・25日(日) 石川県立武道館

少年男子	遠的	6点	近的	6点	計12点
少年女子	遠的	2点	近的	2点	計4点
成年女子	遠的	1点	近的	4点	計5点
成年男子	遠的	2点	近的	6点	計8点

本国スポ代表
本国スポ出場

昇段昇格者

- ◆「仙台」定期中央審査会
- ▽教士の部
- 手塚信一郎(錬士六段 上伊那支部)
- ◆「神奈川」特別教員臨時中央審査会
- ▽錬士の部
- 窪田 和恵(五段 大北支部)

訃報(敬称略)

- 御代田町 神津道場経営 神津 玄照(93歳)
令和6年7月13日逝去されました
 - 飯伊支部 篠田 知博(93歳)
令和6年8月1日逝去されました
 - 長野支部 長野 恒夫(83歳)
令和6年8月8日逝去されました
 - 長野県弓道連盟顧問 木曾支部 教士八段 土川 俊市(89歳)
令和6年8月28日逝去されました
 - 飯山支部 錬士六段 須藤 虎夫(92歳)
令和6年9月5日逝去されました
- ここに謹んで哀悼の意を表し、お知らせ申し上げます。

ひとりごと

今年の夏ほど暑い年も無いのではないのでしょうか...と、毎年言ってる気はしますが、とにかく暑い!!! 水分補給は、してもみんな流れてしまい、なんとなく頭痛がして、それも慣れっことなってしまった今日この頃です。

「猛暑」「酷暑」「極暑」暑さの呼び方も変化して、最近「炎暑」という呼び方を耳にすようになり、いつの間にか日本は亜熱帯になってしまったと感じます。

雨が降ってもスコールのよう...で...ちっとも涼しくないですし、「さわやか信州!」どこのお話でしよう? もはや死語です。

道場も、そのうち冬は寒さ対策で窓を閉め、狭間のような小窓からの向かい、夏は暑さ対策でエアコンかけて結局小窓から...なんてことになっちゃうのでは? などと考えながら、また噴出した汗をぬぐい、そうは言っても結局今日も道場に来て弓を引きます。陽炎の立つ矢道を恨めしく眺めながら、「さわやか信州!」カムバックです。

...に、しても、ああ、暑い。

松本支部 中田美千